

お話

滋賀県大津市幼保支援課

伊東 直美先生

滋賀県大津市立石山小学校

忽那 沙知先生

特別活動の特徴

特別活動は、子供たちが仲間と共に様々な集団活動をする中で、「集団や社会の形成者としての見方・考え方」を働かせ、互いのよさを生かしながらよりよい人間関係を形成し、自分たちの力で明るく楽しい学校生活をつくりだすために取り組み、自分のよさや可能性を生かしてなりたい自分に向けて諦めずに努力をするなどの資質・能力を育む教育活動です。

幼児期の子供たちは、遊びの中で自分を発揮しながら友達と関わり、一緒に活動する楽しさや協力してできた喜びを感じています。一緒に遊ぶ楽しさを味わっているので、思いがぶつかっても、自分も友達も楽しく遊べる方法を考え、譲り合うなどしてきました。また、「もっと楽しく遊びたい」と感じたときに、遊び方を工夫したり、ルールをつくったり変えたりしてきた経験もあるはずです。

このような遊びの中で培ってきた人との関わりに関する学びをもとに、小学校では、さらに人間関係や活動の範囲を学級や学校に広げていきます。

幼児期の遊びを通した学び

幼児期は、友達と関わる中で、様々な出来事を通して多様な感情体験をし、友達との関わりを深めていきます。友達や保育者と生活を共にする中で、気付きや必要感をもって、自分たちでルールやマナーなどを考えているのです。

具体的には…

- 自分たちが遊びや生活の中で気付いたことや困ったことを、その場で友達と話し合ったり、クラスみんなで考えたり振り返ったりして、明日の遊びや生活に生かそうとする
- 自分の身の回りの持ち物や遊びで使うものを、自分たちが使いやすいように並べて準備したり片付けたりする
- 小学校への憧れの気持ちをもち、小学生や先生と交流したり、小学校へ遊びに行ったりすることを楽しむ。また、自分たちの遊びの中でも小学校で体験したことを再現するなど、小学校生活をイメージしながら楽しみにする

幼児期の 遊びを通した学び

と

特別活動 学級活動(1)

とのつながり



遊びを通した学び
うさぎのお世話で…
「ご飯を食べて大きくなってね」と、自分にできることを考えながら世話をしたり、友達と仕事を分担したりしている。

主体的な学びを引き出す保育者の援助と環境の構成
生き物と触れ合う中で、思いを寄せたり自分たちに何ができるのかを考えたりします。自分の思う通りにいかないことにぶつかりながら、相手の立場に立って考えることにもつながります。



遊びを通した学び
当番活動を通して…
「今日のお休みは0人です」クラスの一人として友達と一緒にできるお仕事を考え、欠席カードを職員室に届けに行っている。

主体的な学びを引き出す保育者の援助と環境の構成
クラスの中で自分にできることを考えたり、役に立つ喜びを感じたりしていきます。子供が「これがしたい」と思えるように投げかけることで、必要感をもって取り組むことにつながります。



遊びを通した学び
ルールを考えよう！
「順番にしたらどうか」とより楽しくなるように話し合い、ルールを考え工夫しながら遊びを進めている。



遊びを通した学び
誕生会を楽しくしよう…
「こんなお祝いのプレゼントはどうか」とどんなお祝いをすると友達が喜ぶか、相手の立場に立って考えたりやってみたりしている。

主体的な学びを引き出す保育者の援助と環境の構成
例年通りではなく、今の子供たちが考えていることをどうすれば実現していけるのか、子供が主体的に企画していけるよう、保育者は思いを引き出すことを大切にします。



遊びを通した学び
振り返りの場面で…
「順番が分からなかったな」遊びの中で困ったことなどいろいろな友達の思いに触れ、伝えたり聞いたりしている。



遊びを通した学び
片付け中…
「こっから巻くよ」どちらから巻くのか、互いに様子を見合って声を掛けながら、片付けをしている。

幼児教育を通して育まれた10の姿

- 協同性
- 豊かな感性と表現

※これらの活動では他にも「自然との関わり・生命尊重」「言葉による伝え合い」などの姿も見えてとれますが、ここではあえて「学級活動(1)」に深くつながるものだけを抜粋して記載しています。

小学校の各教科等における資質・能力とのつながり

- 学級や学校における生活づくりへの参画

学級生活をよりよくするための課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図り、実践する力

幼児期の遊びを通した学び

保育者の助けを借りながらどうするとよいかを考え、誕生会の司会をしている。遊びの中で困ったことを出し合い、ルールや順番を変えながら、より楽しく遊べるようにしている。

目標 (知識及び技能) みんなで学級生活を楽しくすることの大切さを理解し、基本的な合意形成の手順や活動の方法を身に付けるようにする。
(思考力、判断力、表現力等) 学校生活を楽しくするための課題を教師と共に見だし、話し合い、他の児童の意見を聞いて合意形成を図り、仲よく実践することができるようにする。
(学びに向かう力、人間性等) 学級を楽しくするために、役割を意識して楽しんで集団活動に取り組もうとする態度を養う。

学習計画 **事前の活動** 自分たちの生活の中から共同の問題を見つけ、議題を選定する。話し合いの計画を立て、自分の考えをもつ。
本時の活動 学級会を開き、みんなで意見を出し合ったり、比べ合ったりしながら話し合う。意見をまとめ、集会ですることや必要な役割を決める。(合意形成)
事後の活動 みんなで決めたことを、役割分担をして、協力して実践する。集会の実践の振り返りをする。

【授業展開例】

事前の活動

学級生活における問題から課題を見付け、議題を学級全員で決定する。話し合いの計画を立て、学級会の準備をする。

- ★1学期みんなでいろいろなことをがんばってきたね。もう少して長い夏休み。しばらくみんなに会えないから、その前にみんなで集会をしたらどうかな。(他の学年のお楽しみ会等の写真を見せて) これまでに集会をしたことはあるかな?
●お誕生日会をしたことがあるよ。 ●七夕集会があったよ。
- ★みんなの力で集会を開いてみよう。1学期をどんな気持ちで終わるといいかな?
●みんなで楽しかったねと思えるといいな。 ●みんなで仲よく遊びたいな。
●楽しく終わったら、2学期もがんばろうと思えるよ。
- ★では、1学期を楽しく終え、2学期もまたみんなでがんばろうと思える「1学期がんばったね集会」を考えよう。

POINT

幼児期の学びを踏まえた指導の工夫

園の生活の中では、どのような集会をして楽しんできたのか尋ね、集会についてのイメージを広げ、小学校ではそれらを自分たちの力でやること知らせ、「やってみよう」という意欲を高める。

POINT

幼児期の学びを踏まえた指導の工夫

学級会の入門期なので、最初は教師も司会や黒板記録をする。慣れてきたら、司会グループの子供と一緒に教師も司会係になったり、学級会の進め方や気を付けることを全体に指導したりして、学級の全員が、学級会のやり方を理解できるようにする。

1 がっきががんばったねしゅうかいで何をするか決めよう。

★何をするのがよいと思うか、自分の考えを学級会ノートに書きましょう。

出し合う

「話し合うこと」について自分の考えを発表し合う。

- 司: 「1学期がんばったね集会で何をするか」について発表してください。
- ★友達の意見は、「うんうん、〇〇さんは〜と考えたんだあ」としっかり聞きます。
●私は、フルーツバスケットがいいと思います。休み時間にみんなで遊んで楽しかったからです。
●ぼくは、伝言ゲームがいいと思います。みんなで協力できるからです。
●私は、教室を飾りたいです。わけは、保育園のときに飾りがあって、嬉しかったからです。

比べ合う

提案理由の「1学期を楽しく終わって、またがんばろう」と思える集会にするには、何をするのがよいか、賛成意見や反対意見を聴き合い、話し合う。

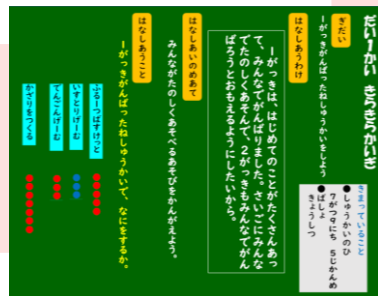
- 司: 「1学期がんばったね集会」では、何をするのがいいと思いますか。
- ★提案理由を考えながら、わけを付けて、意見を言えるといいですね。
●ぼくは、フルーツバスケットがいいと思います。わけは、この前の雨の日に、みんなに人気だったからです。
●私は、いすとりゲームは、座れなくなったら参加できなくなるので、ずっと遊べる遊びがいいです。

まとめる

いろいろな意見の違いを認め合い、折り合いを付けながら、みんなで「1学期がんばったね集会」ですることを決める。(合意形成)

- ★たくさん意見が出ましたね。どれも楽しそうだけれど、全部はできないね。どうやって決めようか?
●鬼ごっこに賛成の人が多かったから、それに決めるのがいいと思うな。
- ★賛成の意見が少ないものも、大切な意見だから、どれも大切にしようね。
- ★似ている遊びはどれかな?(先生が出た意見を黒板で分類・整理していく。)(早く決めれば、残った時間で役割分担をし、実践につなげる。)
- ★どんな役割があれば、「1学期がんばったね集会」ができるかな?
●司会をする人がいるね。 ●はじめと終わりに言葉を言う人がいたよ。
●幼稚園のときに、プログラムがあったよ。 ●教室の飾り係をしたいな。

【板書例】



POINT

幼児期の学びを踏まえた指導の工夫

これまでにやってきた集会のプログラムや進行を思い出させ、役割分担を決めることで、当日は子供たちの力で進められるようにする。

事後の活動

1. 決めたことを実践する。みんなで「1学期がんばったね集会」をしよう。
2. 集会でがんばったことやできるようになったことを振り返る。

- ★今日の集会は何のためにするのですか? 今日がんばることは何ですか?
●楽しく終われるようにするんだよ。 ●お友達に優しくしたいな。
- ★「1学期がんばったね集会」は、みんなで協力してできましたね。お友達のがんばっていたところを見付けられましたか?
●プログラムに絵があって、楽しかったよ。
●飾りが間に合わないとき、〇〇さんがみんなに手伝ってあげてと呼びかけてくれて嬉しかったよ。
- ★2学期もみんなで学級会をして、楽しい1年〇組さんにしようね。

POINT

幼児期の学びを踏まえた指導の工夫

実践を終えた後は、互いのよかったところや次にやってみたいことを振り返り、次の学級会につなげる。

幼児期の 遊びを通した学び

と

特別活動 学級活動(2)

とのつながり



遊びを通した学び

お茶を飲んでいたら…
「こぼれちゃった」「雑巾、こ
こにあるよ」と、自分たち
で考えて困りごとに対応
していく。みんなで使う
場を心地よく整えようと
している。

主体的な学びを引き出す保育者の援助と環境の構成

いつでも誰でも使えるように、決まった場所に雑巾などを用意してあります。保育者は片付ける姿を見せたり、「どうしたらいいかな」と周囲に投げかけたりして、自分たちで解決に向かえるようにします。



遊びを通した学び

地震がきたら…
「ダンゴムシみたいにまるまって」と、
言葉や動きでどう行動したらよい
のか知り、やってみようとする。



遊びを通した学び

お弁当の時間…
「みんなで食べるとおいしいね」と、
友達と一緒に弁当を楽しく食べ、
食事のマナーを知ったり食べ物へ
の興味・関心をもったりする。



遊びを通した学び

話し合いの場面で…
「なんでいけないの？」
「だって…だから」と、相
手の言葉を聞き、違い
に気付いたり、どうす
ればよいのか考えたり
する。

主体的な学びを引き出す保育者の援助と環境の構成

気持ちの出し方が端的で相手に伝わりにくい場面もあります。相手に伝わった嬉しさを味わえるよう、保育者が受け止め具体的に言い方を示したり、意図的に伝え合いの場面をつくりし、寄り添う気持ちを育みます。



遊びを通した学び

片付けの時間…
「明日も使うからここに置
いておこう」と、明日の遊
びへ見通しと期待をもっ
て、片付けを楽しんで
行っている。

主体的な学びを引き出す保育者の援助と環境の構成

幼児たちが自分たちで決めたということを大切にします。今日感じたことを振り返ることができるような投げかけをすることで、明日への思いがより具体的になっていきます。



遊びを通した学び

身支度の場面で…
「見て、服がたためるようになったよ」保育者に認められ、喜んで自分のスモックをたたんだり片付けたりする。

幼児教育を通して育まれた10の姿

- 健康な心と体
- 道徳性・規範意識の芽生え

※これらの活動では他にも「自立心」「社会生活との関わり」「思考力の芽生え」などの姿も見とれますが、ここではあえて「学級活動(2)」に深くつながるものだけを抜粋して記載しています。

小学校の各教科等における資質・能力とのつながり

- 基本的な生活習慣の形成
- 身の回りの整理や挨拶などの基本的な生活習慣を身に付け、節度のある生活にする力

幼児期の遊びを通した学び

遊び終わったら使ったままにせず、次に使う人のことも考えて進んで片付けたり、「明日も使うからここに置いておこう」と明日の遊びへの期待を込めながら、片付けも楽しんで行う。

目標

- (知識及び技能) 自己の身の回りの整理整頓に係る諸課題の改善に向けて取り組むことの意義を理解し、基本的な生活を送るための知識や行動の仕方を身に付けるようにする。
- (思考力、判断力、表現力等) 自己の身の回りの整理整頓に係る諸課題を知り、解決方法などについて話し合い、意思決定して実践することができるようにする。
- (学びに向かう力、人間性等) 自己の生活をよりよくするために、見通しをもったり振り返ったりしながら、進んで課題解決に取り組み、他者と仲よくしてよりよい人間関係を築こうとする態度を養う。

学習計画

事前の活動

自分の持ち物の片付けができているかアンケートをする。

本時の活動

身の回りを自分できれいに片付けるよさに気付き、どうしたら片付けができるのか、解決方法を話し合い、自分のめあてを決める。(意思決定)

事後の活動

自分が決めたことを実践する。帰りの会で、ワークシートに印をつけながら、振り返りを行う。

【授業展開例】

つかむ

身の回りを整理整頓することについて、課題に気付く。



- ★(学習で使うものが見付からずに困っている様子の絵等を見せて) この子はどうしたのかな？
 - 物がなくて困っているよ。
 - 片付けをしなかったからだよ。
- ★片付けができないと、どうして困るのかな？
 - ノートや教科書がないと勉強ができないよ。
 - 友達を待たせちゃうよ。
 - ロッカーからランドセルがはみ出ているとつまずいて危ないよ。

POINT

幼児期の学びを踏まえた指導の工夫

園でも、毎朝登園後の身支度や片付けをしてきた。それらの経験を思い出させ、物が増えた小学校でどうすればよいかを考えられるように、園の棚や靴箱の写真を用意する。



じぶんもみんなもきもちよくすごすためには、どのようにせいとんすればいいのかな？

さぐる

片付けがうまくいかない原因を明らかにして、身の回りをきれいにする必要性を実感する。



- ★園では、どんなものをどこに片付けていたかな？
 - かばんや帽子は、毎朝棚に入れていたよ。
 - のりやはさみは入れるところがあったよ。
- ★園でもやってきたけれど、今、片付けができなくて困っているのは、どうしてかな？
 - 算数セットとか体操服とか、使うものが増えたから片付けが大変になったよ。
 - 机の中やロッカーと、片付ける場所が多くなったよ。



グループの友達と一緒に考えよう！！

見付ける

みんなで話し合い、身の回りをきれいに使いやすく片付けられる方法を考える。



- ★小学校で増えた道具を片付けるときに、困っていることは何かな？
 - 引き出しと大きさが合わなくて困ってるよ。
 - 机の横にかけている袋が汚れて困ったよ。
- ★みんなどうしているかな？ 困っている人に教えてあげて。
 - いつも入れる場所を決めておくといいよ。
 - 細かいものは、袋にまとめるといいよ。
- ★実際に自分のものを片付けてみよう。

〇〇さんと同じように入れたらうまくできた！



決める

話し合ったことや片付けをやってみたことをもとに、これからがんばる具体的なめあてを一人一人が決める。(意思決定)



- ★みんなでやってみて、片付ける方法に気付いたね。これから自分ががんばることを考えましょう。
 - 引き出しの中がぐちゃぐちゃにならないように、決めたところに入れるのをがんばる。
 - 下駄箱に靴を置くときは、きれいに見えるように、かかとをきちんとそろえる。
 - 廊下に体操服袋が落ちていたら、声を掛けたり、拾ってかけてあげたりしよう。

POINT

幼児期の学びを踏まえた指導の工夫

一人一人のめあてを聞き合い、学級全体で共有していくことで、小学校はみんなで一緒にがんばるという意識付けを行う。

事後の活動

1. 決めたことを実践する。みんなで「1ねん〇くみ きれいだいさくせん」をしよう。
2. 自分で決めたことができたか振り返る。

- 引き出しに入れる場所を決めたから、はみ出すことがなくなったよ。
- 使ったらすぐに元の場所に片付けるようにしたら、用意も早くなったよ。
- △△さんが、きれいだねってほめてくれて、嬉しかったよ。これからはがんばる。
- さんに教えてもらったから、もっときれいになったよ。
- 6年生の下駄箱は、ピシッとそろっていたよ。

～ができるようになったから、次は～しよう！



- ★自分で決めたことを振り返って、できることをもっと増やしていこうね。

POINT

幼児期の学びを踏まえた指導の工夫

ワークシートを用意し、毎日自分で決めたことができたかの振り返りを行うとともに、友達のがんばりも認め、励まし合いながら実践できるようにする。

幼児期の 遊びを通した学び

と

特別活動 学級活動(3)

とのつながり



遊びを通した学び

小学生との交流を通して…
「5年生って、かっこいいね」
交流で出会った5年生と一緒に過ごすことを楽しみ、憧れの気持ちをもっている。

主体的な学びを引き出す保育者の援助と環境の構成

小学生のお兄さん・お姉さんや先生と出会う機会をもつことで、幼児が小学校を身近に感じたり、期待をもったりしていきます。小学校入学後も知っている人がいるという安心感にもつながります。



遊びを通した学び

自分の目標に向けて…
「竹馬に乗れるようになりたい」自分なりに決めた目標に向けて、取り組んだり、できるようになった喜びを感じたりしている。

主体的な学びを引き出す保育者の援助と環境の構成

幼児自身が目標を立てる過程に寄り添い、立てた目標を大切に、取り組む姿を励ましたり見守ったりします。取組の過程で、幼児の努力や成長を見逃さず認め、自信や喜びにつなげていきます。



遊びを通した学び

出前授業で…「小学生みたい。やってみてほしいね」学校の先生に教えてもらい、自分で書いたり質問したりして、小学校の生活を知る。



遊びを通した学び

一年間を振り返って…
「お誕生日おめでとう」自分の成長を感じるとともに、友達を祝ったり、祝ってもらうことを喜んだりしている。

主体的な学びを引き出す保育者の援助と環境の構成

誕生会やお別れ会、修了式などを通して、友達だけでなく保護者と共に成長を感じ、喜び合える場や機会をつくっています。幼児が、大きくなった自分の成長をたどる視点を示し、十分に認めています。



遊びを通した学び

絵本コーナーで…
「このたねはなんだろう」自分の知りたいことに合わせて、必要な情報を調べようとしている。



遊びを通した学び

運転手さんとの話の中で…
「どんなお仕事しているの？」身近にいる人の仕事について興味をもち、質問したり一緒に仕事を体験したりしている。

幼児教育を通して育まれた10の姿

● 社会生活との関わり

● 自立心

※これらの活動では他にも「協同性」「豊かな感性と表現」「道徳性・規範意識の芽生え」などの姿も見えてとれますが、ここではあえて「学級活動(3)」に深くつながるものだけを抜粋して記載しています。

小学校の各教科等における資質・能力とのつながり

● 一人一人のキャリア形成と自己実現

「なりたい自分」に向けて目標をもち、その実現に向けて日常生活をよりよくしようとする力

幼児期の遊びを通した学び

自分なりに「～できるようにになりたい」と目標を決めて、遊んでいる。
「カマキリのエサは何かな？」生き物を育てるときに、絵本コーナーで調べている。

目標 (知識及び技能) 働くことや学ぶことの意義を理解するとともに、行動の在り方を身に付けるようにする。 (思考力、判断力、表現力等) 2年生に向けての自己の生活の課題を見だし、よりよい解決のために話し合い、意思決定して実践することができるようにする。 (学びに向かう力、人間性等) 現在の生活をよりよく生きるために、自分に合った3学期の目標を立て、目標の達成を目指しながら主体的に行動しようとする態度を養う。			
	学習計画 事前の活動 1・2学期に楽しかったことアンケートをとり、それらの写真を教室に掲示しておいて、子供たちが1・2学期を振り返れるようにしておく。	本時の活動 入学前や入学してからのことを思い出す。1年生になって成長したことを実感する。3学期のめあてを決める。(意思決定)	事後の活動 帰りの会で振り返りを行う。自分の立てためあてについて、振り返る。

【授業展開例】

つかむ

入学する前の気持ちや入学式のことを思い出し、課題に気付く。

- ★ (入学前の交流や出前授業、入学式等の写真を見せて) 入学するときはどんな気持ちだったかな？
 - ランドセルを買ってもらったときは、嬉しかったな。
 - 早く学校に行きたかったよ。 ●学校はどんなところかドキドキしたよ。
- ★ 4月からみんなは2年生ですね。どんな2年生になりたいですか？
 - 新しい1年生に優しい2年生。 ●何でもがんばる2年生。
 - 新しい1年生にかっこいいと思われたいな。

POINT

幼児期の学びを踏まえた指導の工夫

幼児期から小学校に入学してきたころの写真を見せ、その時の気持ちを思い出しながら、一人一人が成長してきたことに気付かせる。

「なりたい2年生」にむけて、どんなことをがんばればいいかな？

さぐる

1・2学期にあった出来事や学校行事を思い出し、自分たちの成長を話し合う。

- ★ 1・2学期に、みんなでどんなことをしてきたかな？
 - 遠足で□□公園に行ったよ。 ●音楽会でみんなで合唱をしたよ。
 - みんなで合唱をしたよ。 ●運動会でダンスを踊ったよ。
 - 生活科でおもちゃランドをして、たくさんお客さんが来てくれたよ。
- ★自分ががんばったことやできるようになったことには、どんなことがありますか？
 - 掃除の時間にたくさん机を運べるよ。 ●給食を残さず食べられるようになったよ。
 - たし算やひき算が早くなったよ。 ●ノートの字をきれいに書くことができるよ。
 - 友達と仲よくできたよ。 ●忘れ物をしないように用意しているよ。
- ★みんなそれぞれ、1年間でたくさんできるようになったね。

1年間でできたことがたくさんあるね!!
だから次は、～ができるようになりたいな

見付ける

なりたい2年生に向かって、3学期にがんばることを話し合う。

- ★はじめに○○な2年生になりたいって言ってたけれど、3学期にどんなことをがんばればよいか考えてみよう。新しい2年生にかっこいいと思われたいには…？
 - 大きな声であいさつできるようになれば、かっこいいと思ってもらえるんじゃないかな。
 - 下駄箱の靴がきれいそろっているとほめてもらえると思うな。
- ★何でもがんばる2年生になるためには…？
 - 苦手なことにも挑戦することが大切なんじゃないかな。

POINT

幼児期の学びを踏まえた指導の工夫

はじめに子供の発表で出てきた「なりたい2年生」になるためにがんばることをみんなで話し合い、自分に合った具体的なめあてが立てられるようにする。

決める

話し合ったことをもとに、「なりたい2年生」になるためにがんばるめあてを一人一人が決める。(意思決定)

- ★自分がなりたい2年生になるために、3学期にがんばることを決めましょう。
 - 1年生に優しい2年生になれるように、友達にふわふわ言葉を使うようにします。
 - 1年生のお手本になりたいから、掃除の時間に隅々までしっかり雑巾をかけたり、ほうきでたくさんゴミを集めたりすることをがんばろう。
 - 私も1年生の見本になりたいから、トイレのスリッパや下駄箱の靴をそろえることをがんばる。
 - 勉強をがんばる2年生になりたいから、いっぱい手を挙げて発表できるようにします。
- ★お隣の人のめあてを聞きましょう。これからの1週間がんばっていることをお互い見付け合ひましょう。

事後の活動

決めたことを実践する。一人一人めあてを書いてみんなが見えるところに掲示し、振り返りを行いながら実践をする。

- ★ (帰りの会等で…) 今日自分のめあてをがんばっていた人はいましたか？
 - さんが、今日の国語の時間に丁寧な字で書いていたよ。
 - △△さんは、今日の朝、校長先生に大きな声であいさつをしていたよ。
 - さんが、トイレのスリッパをきれいにそろえているのを見かけたよ。
- ★これから先もずっと自分ががんばったことが分かるように、「キャリア・パスポート」に振り返りを書いて残しましょう。

POINT

幼児期の学びを踏まえた指導の工夫

自分で決めたことをがんばっている子供の様子を写真等で紹介し、友達のがんばりも認め、励まし合いながら実践ができるようにする。

幼児期の 遊びを通した学び

と

特別活動 学校行事

とのつながり



遊びを通した学び

運動会では…
「私もあんな風に踊りたいな」5歳児の姿を見て憧れの気持ちをもったり、お互いに教え合ったり、違う学年と活動することを楽しんでいる。

主体的な学びを引き出す保育者の援助と環境の構成

異学年が自然と関わりがもてるよう、場を近付けたり、取り入れやすいリズムや活動を計画したりします。保育者もクラスも超えて幼児と関わることで園全体で幼児たちを見守る風土を育てます。



遊びを通した学び

作品展では…
「ほくの電車とつなげてみよう」友達のつくった作品から刺激を受け、自分でもつくってみようとしている。

主体的な学びを引き出す保育者の援助と環境の構成

自分がこだわって作った部分や、友達のすてきな部分など、互いの作品のよさを具体的に認めています。また、生活経験を存分に生かしていけるよう、必要な用具や材料を子供と共に準備していきます。



遊びを通した学び

交通安全では…
「ほくたちのことを守ってくれてありがとう」警察の方に園に来てもらい、自分の身を自分で守る方法を知る。



遊びを通した学び

地域行事では…
「焼いてくれてありがとう」地域の方と一緒に焼き芋づくりを楽しんだり、地域にはいろいろな方がいることを知ったりしている。

主体的な学びを引き出す保育者の援助と環境の構成

地域の方との出会いの場をつくり、人と触れ合う温かさや感謝の気持ちを育てます。園だけではできない経験が、子供たちの豊かな感性を育みます。



遊びを通した学び

飼育栽培では…
「何が出てくるかな」と、種や球根を植えることを楽しみ、見通しをもって育てようとしている。



遊びを通した学び

大掃除では…
「幼稚園をピカピカにしよう」今まで使ってきたものに愛着や感謝の気持ちを持ち、大切に扱おうとしている。

幼児教育を通して育まれた10の姿

- 協同性
- 社会生活との関わり

※これらの活動では他にも「自立心」「思考力の芽生え」「豊かな感性と表現」などの姿も見えてとれますが、ここではあえて「学校行事」に深くつながるものだけを抜粋して記載しています。

小学校の各教科等における資質・能力とのつながり

- 集団活動の意義を理解し規律ある集団行動の仕方を身に付けたり、することのよさについて考え、集団で協力して取り組んだりする力
- 運動に親しみ、体力の向上に積極的に取り組もうとする態度

幼児期の遊びを通した学び

運動会に向けた5歳児の練習の様子を見て、「あんな風に踊りたい」と憧れの気持ちをもつ。お世話になった地域の方に焼き芋大会に参加してもらい、感謝の気持ちを育てている。

目標 (知識及び技能) 運動会の意義を理解し、規律ある集団行動の仕方を身に付けようとする。 (思考力、判断力、表現力等) 集団活動を通して、運動することのよさについて考えたり、集団で協力して取り組んだりすることができるようにする。 (学びに向かう力、人間性等) 運動に親しみ、楽しさを味わいながら、体力の向上に取り組もうとすることができる。		
	学習計画 事前の活動 運動会の意義を理解する。児童会の目標や児童会種目の内容について話し合う。	体験的な活動の実践(本時) 体育等で、学年の種目について、練習をする中で、他者との協働による実践を行う。運動会に向けてめあてを立て、振り返りながら実践を行う。

【授業展開例】

事前の活動

小学校の運動会のイメージをもって活動に取り組めるようにオリエンテーションをする。

★園での運動会はあったかな？ どんなことをしてきたのか教えて。

- かけっこやリレーをしたよ。
- 三角竹馬や跳び箱とか、得意なものをみんなの前で見せたよ。
- バルーンを年長の人と一緒に練習して発表したよ。
- たくさんのお家の人が見に来て、一緒にお弁当を食べたよ。

小学校の運動会も楽しそう！

POINT

幼児期の学びを踏まえた指導の工夫

園で行ってきた運動会は、内容も規模も園によって様々だろう。小学校の運動会の様子を写真や動画で見せ、子供たちが安心してできるように、イメージをもたせながら、運動会の意義や目的が分かるようにする。

★(昨年度の運動会の写真や動画を見せながら) 小学校の運動会はどうですか？

- 保育園のときに、練習を見に来たよ。お兄ちゃんたち、速かったよね。
- 運動場が広いけれど、大丈夫かな？ みんなで合わせるの大変そうだな。
- 他の学年の人や家の人など、みんなの前で発表するんだね。
- 応援もするんだね。面白そう。

運動会の練習

学年種目や種目の練習を行う。(練習の中で、友達や集団のよさ、共に活動する楽しさを味わえるようにし、振り返りを行いながら、集団への所属感を高めていけるように仕組んでいく。)

- みんながそろってきれいになったよ。
- 〇〇さんが、私の立つ位置を教えて助けてくれて、嬉しかったな。
- △△さんが玉入れのコツを教えてくれたから、たくさん入ったよ。
- みんなが応援してくれたから、ゴールまでがんばって走れたよ。

POINT

幼児期の学びを踏まえた指導の工夫

園の運動会の練習でも、友達を応援したり、作戦を立てたり等の経験をしてきている。それらの経験を学級生活づくりに生かす。

★一人でできなかったことも、みんなと一緒にだてできるようになるね。

★友達を大きな声で応援したり、助けたりして、みんなで仲よくなれたね。学級の合言葉は「にこにこくみ」だね。(子供たちの気付きを認めて広げていく。)

★6年生のお兄さんやお姉さんは、どうでしたか？

- バトンパスが速くて上手ですごかったよ。
- 応援合戦の団長さんの声がかっこいいよ。あんな風になりたいな。

めあての決定

運動会の練習が始まったら、学級活動(3)の授業で、初めての運動会に向けて、自分のめあてを決める。

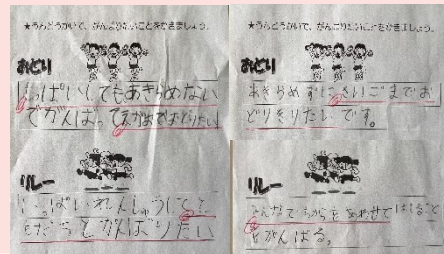
★運動会はどんな日にしたいですか？

- ダンスを間違えないように踊りたいなあ。
- リレーをみんなでがんばりたい！
- みんなが笑顔で楽しい日にしたいな。
- 一生懸命に走ったり踊ったりしたいな。

一人一人が目標をもって！

★運動会に向けて、自分ががんばりたいことを決めましょう。

- 玉入れで1番になりたいから、休み時間に練習する。
- ダンスを家族に喜んでもらえるように、覚える。
- 早く並べるように、みんなに声を掛ける。
- 楽しい運動会にするために、応援を大きな声でする。



運動会当日

一人一人が達成感を味わえるように教室で声掛けをし、当日のプログラムに沿って行動する。

★今日がんばりたいことは何ですか？(一人一人が、運動会のめあてを思い出し、目標をもって学校行事に参加できるように声掛けをして、教室を出発する。)

★(運動会が終わったら、帰りの会で)初めての運動会、みんながんばりましたね。今日がんばったことは何ですか？

- 6年生の人と一緒に、大きな声で応援をがんばったよ。

事後の活動

1年生の運動会の振り返りをし、次の行事や来年の運動会への意欲を高める。

★運動会でみんなができるようになったことは何ですか？

- 諦めずに最後までがんばれたよ。
- 並ぶのが早くできるようになったよ。でも、6年生はまっすぐできれいだっとな。

★これからの生活の中でも、できるようになったことを生かしていきましょうね。そして、もっともっとすてきな1年〇組にしましょうね。

